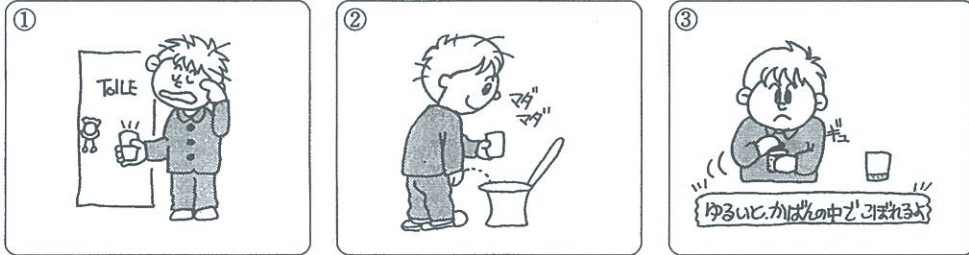


尿検査

尿検査は、じん臓病・糖尿病を早くみつけるために行う、大切な検査です。

じん臓病は、かなり悪くならないと自覚症状があらわれないことが多いので、気づかずにほっておくと、病気がすすんで、治りにくい、こわい病気です。尿検査をして、自覚症状がまだない早いうちに発見して、適切な治療を受けることが、だいじです。

尿(おしっこ)のとりかた



朝起きたら、すぐ、おしっこをとりま。

ではじめのおしっこを少し流してから、中間のものをコップにとりま。

コップのおしっこを、検査用の容器で吸い取り、しっかりふたをしめま。

検査結果に影響することがありますので前日は激しい運動、ビタミンCを多く含む食品、薬品を摂ることを避けてください。

尿ビンには、尿専用ラベルをしっかりとって提出しましょう。



提出の日

(6月15日~6月17日)

学校から指定された、尿の検査日は、この日限りです。わすれないようにしましょう。

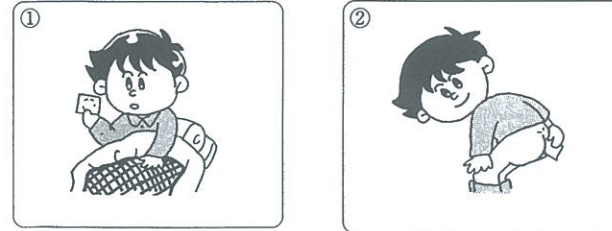
こんな人は、腎臓病の黄信号



☆かぜをひきやすい
☆からだがだるく
疲れやすい

ぎょう虫卵検査

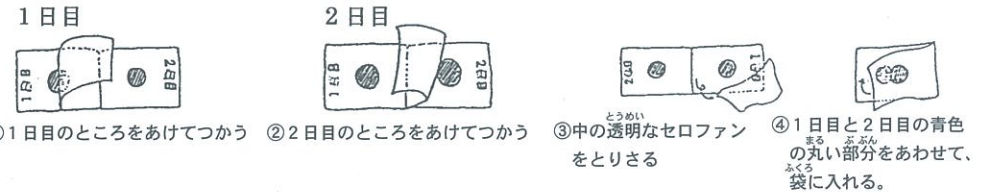
ぎょう虫卵のとりかた



朝起きてすぐとります。うんこをしてからでは検査ができません。

真中の青色丸のところを肛門につけて、指で2,3回強く押しま。

検査セロファンをつかい方



☆ぎょう虫卵検査用袋には専用ラベルをしっかりと貼りましよう。
☆検査セロファンにも名前を記入して提出しましよう。

手から口へ入る。卵が口に入ってからお母から親虫になるまで約50日。



こんな人は、ぎょう虫がいるかもしれません。



メスの親虫が眠つてる間に、肛門まですてきて卵を産みつける。

提出の日

(6月15日~6月17日)

学校から指定された、ぎょう虫の検査日は、この日限りです。わすれないようにしましょう。